

2 アマ取得体験記（長文）

7L2WVR 久保木尊史

2023年7月23日 夜8時27分、14Mにてポリビアをゲット。
ずっと追いかけていたが、他のバンドではほとんど見かけることがない。
一年に1～2回くらい21Mあたりで短時間、見かける程度だ。
このところ連夜、ポリビアが14Mに出ている。
なかなかこちらの信号が届かない。昨夜もコールバックがあったが、尻切れに終わった。
今夜もめげずに呼ぶ。そしてやっと「RR73」が来た、交信成立。
念願のポリビアを14Mでゲット、改めて「2アマを取得して良かった」と、つくづく思う。

2022年、秋、もう年の瀬もすぐそこに迫っている。
CQ誌12月号のページをめくりながら記事や広告に目を通していく。
後ろのほうにある、「アマチュア無線技師 国家試験日程」のページを開く。
「第一級アマチュア無線技師、第二級アマチュア無線技師、受付は終了しました。」
ふ～ん、なんとか3アマは取ったけど、2アマなんて絶対に無理。
試験問題を見てもちんぷんかんぷんだし、僕には3級が取れたのだから奇跡だ。
3アマなら50W出せるし、CWも（実際は下手っぴで打てないけど）許可されてるし、
10Mと14Mは出られないけど、18Mが出られるよ。
DXCCだって150エンティティを越えたし、FT8なら50Wだって十分戦える。
そりゃ、10Mと14M、特に14Mは子供の頃から夢のDXバンドだったから、
出てみたいとは思う。でも2アマなんて絶対に無理。マジで雲の上の存在だよ。
今は2級のeラーニングとかいう通信講座があるそうだけど、費用は、、、45500円！
マジか！ そんなお金ね～し。

そんな事を思いながら、22年も暮れて行った。

2023年、正月のQSOパーティも慌ただしく過ぎ、もう1月も終わろうとしている。
そんな折り、一人暮らしをしている長男から突然、父さんと母さんへのお小遣いという、
プレゼントがあった。
息子に気を遣わせてしまい、申し訳ない気持ちと、とても有難い気持ちで、大切にしようと思う。
家内と半分づつに分け、さて、自分の分はどうしよう、何かを買っても、「物」というのは数年、
長くても数十年で壊れて無くなってしまう。
ずっと無くならないもの、、、それは、「自分の実になるもの」だ。
3アマを取った時も、家内からの誕生日プレゼントとしてのお小遣いで講習会を受けたっけ。
この機会を逃すと、もう2アマのeラーニングを受ける機会は無いだらう。
JARDのホームページを見ると、次は3月受付の4月開講だ。
50.240SSB モービルグループの先輩方も皆さん上級HAMが多いし。
今まで雲の上の存在だったけど、通信講座なら何とかなるかも知れない。
よし！今年最大のチャレンジとして、2アマの講習を受けよう。

と、eラーニングを受けることに決めた。

受付は3月1日からなので、はやる気持ちを押さえて2月が終わるのを待つ。
3月1日、すぐにネットで申し込みをする。
費用はカード決済にした。振込やコンビニ支払いだと確認が取れるまで時間がかかる。
それに楽天カードだから、その分のポイントも貯まるし。ウハウハ。
3アマをJARDの講習会で取得したので、HAMtteクーポンで500円引き。また、羽村のフレンズ
でeラーニング割引券をもらい1000円引き。計1500円が割引になった。 very Good！

3月4日(土)、テキストと書類一式が届いた。
早速eラーニングのページにログインし、勉強を始める。

そこで、ちょっとビックリ。

eラーニングって、インターネットで講習を受けるんじゃないの？

ビデオで画面の向こうに先生がいて、講義を受けて勉強するんじゃないの？

学習をスタートすると、テキストの画面になり、って、これ、テキストと全く同じじゃん。

え〜？ うっそ〜、マジか！ 画面のテキストを読んで一人で勉強するわけ？

なんか騙された気分。

てっきり先生が、「ポイントはこの部分ですから覚えて下さいね」とか教えてくれるのかと思った。

画面のテキストを読むだけ？ じゃ、画面じゃなくてもテキストだけでもいいじゃん。

期待していた分、ガッカリ感があるが、とりあえず気を取り直してテキストを開く。

法規と無線工学、どっちを先にやるか。

法規は今まで4級、3級とやってきた。やはり、苦手の無線工学からガッチリやらないと、後が苦しくなるだろう。無線工学から勉強することにした。

テキストを読むと、「なるほど！これはこういう事か！」という、目から鱗が落ちる落ちる。

今まで、フレミングの右手の法則と左手の法則、どう違うのかよく解らなかったが、磁界の中で電流を流すと導体に力が働くのが左手で、磁界の中で導体を動かして起電流が流れるのが右手か！

というように、詳しく解説してくれるのでよくわかる。

このテキストはすごくいいぞ。と思った。

だが、詳しいので、その分、公式や式の変形も多い。只でさえ算数が苦手なのに、公式の多さには参った。特に基礎の分野で公式が多く、ほとんどが「分数の計算」だ。

分数なんて学校を卒業して以来、40年は使っていない。もうすっかり忘れた。

この世に分数の計算があることすら忘れていたから、分数の足し算引き算から勉強のし直し。

分数の足し算と掛け算を覚えれば何とかなる。何分の何分の1みたいな3階建ての分数計算や、式を代入したり式自体を通分したりするのは今から勉強しても間に合わない。それは捨てよう。

とにかく、基本的な公式、それも問題に出てくるものを覚えることにした。

コンデンサの静電容量、右ネジの法則、コンデンサの直・並列接続、合成インダクタンス、交流の実効値・最大値・平均値、コンデンサの容量性リアクタンス、R-L-C直列回路の合成インピーダンス、共振回路のインピーダンス、抵抗の直・並列回路、オームの法則、など、とりあえず、電卓を使わず手計算で計算で出来るよう、問題に出てくる最低限の基礎的な公式を覚える。

eラーニングは、それぞれの単元(章)ごとに「中間試験」なるものがあり5問出題される。

その5問全問正解しないと、単元の履修にならない。

なので、この5つの問題を中心として各単元を勉強していくことにした。

そうすれば、公式も文章も、覚える重要な部分が決まってくる。

また、中間試験とは別に、各単元の学習目標ポイントのページに、演習問題というのがある。

それは中間試験より一段踏み込んだ、より難しい問題で、この問題も含めて、全ての問題が解けるように、繰り返し練習した。

申し込み当初から、50.240SSB モービルグループの皆さんには、沢山励まして頂き、本当に感謝しています。240の掲示板、また、総会で、暖かい励ましを頂けたので、最後まで頑張れました。本当にありがとうございました。

また、総会の席で、JL1PPM局(福井OM)より、「2アマは3級までと違って、問題がそのままテストに出ない、数字などが変わって出題されるから、丸暗記が使えない。」とお聞きし、

「う〜ん、丸暗記がダメか。じゃ、マジで公式を使えるようにならないと」と、問題から公式が出てくるように毎日繰り返し問題を解きながら進めていった。

なんとか無線工学に目途がつき、法規にとりかかる。
法規も今までより踏み込んだ内容で、結構大変だな。

法規も一通り終わり、全科目を履修したら、「判定試験」がある。
これは本番の「修了試験」と同じ要領で、自宅で受ける試験だ。
法規が1時間、無線工学が1時間半、計2時間半で、教科書、ノート、電卓など全て禁止。
合格点は各60点、それ以下は不合格。その場合は一週間勉強してからでないと再試験が出来ない。

5月13日(土)、判定試験に臨んだ。
ところが、試験画面の使い方がよく分からず、色々やっているうちに、画面が閉じてしまった。
画面を閉じると試験終了となり、その時点で合否が出てしまう。
まだ1問も答えていない状況で画面を閉じてしまったため、0点、不合格。
一週間後でないと再試験が出来ない。

これには大変なショックだった。
今まで全ての問題を完璧に勉強し、満点を狙って臨んだ試験だったので、悔しいのと操作ミスの後悔で、しばらく何も出来ない状態だった。
ダメ元で、事の経緯と状況を説明し、分かりやすい画面か詳しい操作説明を出してくれ!と、半ばクレームっぽいメールをJARDに送った。

5月15日(月)、仕事から帰るとJARDから返信があり、「今回は操作ミスなので、2回目の試験を許可しました」との事。
早速ページを開いてみると、判定試験に入室可能になっている。
やっば、言うべきことは言ってみるもんだな。ひとまずホッとした。JARDの対応に感謝だ。
それでもう一度、一通り今までの問題を解いていく。
そしてその夜、再度、判定試験に臨んだ。

今度は、CBTセンター(修了試験の会場)のページで、本番の試験のやり方を確認したので、余計なところには触らずに試験を進めていく。
法規、その後に無線工学の試験。
やはり、福井OMが言われたように、今までの問題とは出題される数字も違うし、法規のカッコを埋める問題も、違う場所がカッコになっていて、カッコの答えだけを暗記しては解けない。
また、今まで学習の中の問題になかった新しい問題も出てくる。これには参ったな。
全て終わり、試験を終了する。
結果は、法規が1問ペケの98点、無線工学は100点、合格。
これでいよいよ、最終の、修了試験だ。

翌日(火曜日)、JARDより修了試験の案内と申し込みに必要な「受験チケット」の番号がメールで届いた。
すぐにCBTセンターの受験予約をしようとアクセスする。
最寄りの会場は立川だが、生憎、この近辺の会場は全て、近々の週末は満員でダメ。
唯一、西新宿の会場が土曜日の午後に空いている。午後の一番早い時間に予約を入れた。

土曜日までの中三日、帰宅してから問題を解き続ける。
判定試験で出た「新問題」も踏まえて、出る可能性がある部分は全て踏まえて覚え、問題を解く。
だが、やはり不安は襲ってくる。修了試験は原則2回まで。それで落ちると不合格が確定だ。
それに2回目は受験料が5千円かかる。何としても1発で合格しないと。
襲ってくる不安に、問題を解きながら、「大丈夫、これなら大丈夫」と1問1問、問題を解くごとに自分に言い聞かせる。

5月20日(土)、お昼前、早めに家を出る。

新宿まで電車なので、もし遅延や運休があったらまずい。

順調に新宿に到着し、食事をしてから、途中の屋外休憩所でもう一度、テキストを見直す。

試験会場には30分前から入れるが、1時間前、早めに着いてしまった。

とりあえず受付を済ましてから時間まで勉強しようかと思ったが、受付をしたら、係り員がテスト会場に案内するという。なんでも受付をしたらすぐに試験に入らないといけないそうだ。

んじゃ、30分まえから入れます、というのは何なんだ？ 受付前にトイレを済ませて良かった。

持ち物は受験票と計算用紙が渡されるので、それとハンカチのみ。

腕時計も外してロッカーに入れなければならない。筆記用具も計算用紙も全て会場の物。

ハンカチもポケットではなく、机の上に出しておかなければならない。

その他は試験会場に何も持ち込めない。計算も全て計算用紙に手計算だ。

すごく厳しいな。不正を絶対にさせないように徹底している。

試験会場は10人が入る部屋で、机が左右に5個ずつ背中合わせになっている。

その部屋が幾つもあるって、テレビカメラで監視されている。

机のひとつに案内されてスタンバイする。

試験は自分のタイミングで始めることができる。

パソコンの画面で使い方の説明を読み、模擬操作で練習し、準備が出来たら始める。

やっぱり緊張する。手の平も汗でびしょりだ。

すぐには始めず、すこし気持ちを落ち着かせてから、開始する。

全てマウスを使って正解をクリックして回答する方法だ。マウスを持つ手が震える。

なんとか法規を終え、さっと見直して無線工学に入る。このころにはだいぶ落ち着いてきた。

無線工学も全回答を終え、さっと見直して試験を終了させる。

法規が1時間、無線工学が1時間半の、計2時間半の試験時間だが、結局両方で計30分だった。

終わって受付で受験票などを返し、時計を見たら30分しか経ってない。

もっと長く感じたんだけどな。

結果は一週間ほどかかるということなので、やることはやった。あとは結果待ちだ。

5月24日(水) JARD からメールが届いた。

修了試験の結果、合格。

最高にうれしく、今までずっと重く押し掛かっていたものが消え、心が軽くなった。

6月14日(水) 2アマの従事者免許が届いた。

免許を受け取ると実感が湧いてくる。「ああ、2アマなんだ」

すぐに局免の変更申請をし、7月13日(木)に新しい免許状を受け取った。

昨年は、雲の上の存在で、絶対に取れないと思っていた第二級アマチュア無線技師。

こうして手にして、14MでQSOしていると、頑張ってた良かったという思いが湧いてきます。

ただ、途中苦しくてチャレンジしたことをちょっと後悔したこともありました。

そんな時にも頑張れたのは、240各局が励まして下さったから。とても感謝しています。

240の先輩各局が手本として引っ張って下さるので、若輩者の自分も頑張ることができました。

合格した時もとても喜んで下さり、本当にありがとうございました。

2アマ、どんどんチャレンジして欲しいと思います。

要は決断と努力。結果はその次についてきます。

算数が大の苦手な、この僕が取れたのですから、絶・対・大・丈・夫！